

新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装タイプ）事業実施状況及び効果検証について

採択年度	番号	TYPE	事業名
令和7年度	1	TYPE1	メムロスキー場自動改札機導入事業
令和7年度	2	TYPE1	介護認定審査会DX事業（芽室町、清水町、新得町による地域間連携）
令和7年度	3	TYPE1	ペーパーレス会議システムの活用による障害支援区分認定審査会運営事業 （芽室町、清水町、新得町による地域間連携）
令和7年度	4	TYPE1	公立芽室病院ナースコールシステムデジタル化事業

メムロスキー場自動改札機導入事業

担当： 魅力創造課魅力発信係（新嵐山担当）

事業開始年度	令和7年度			
事業概要	スキー場の利用者の減少、本町の観光入込客数の減少により地域内消費額が減少していることから、自動改札機を導入し、来場者の利便性向上と来場者データの把握による顧客満足度の向上、スキー場の更なる利用促進に繋げ、町内及び町外からの来場者数増加を図ることにより、町内の地域内消費額を増加して、地域経済の活性化を目指す。			
具体サービス	<p>【自動改札機導入サービス】</p> <p>①自動改札システム</p> <p>②web販売システム</p> <p>従来は、スタッフが利用者のリフト券を目視確認して通過させていたが、自動改札機を導入することにより、スムーズな利用を促すことに繋がり、スキー事業者の人員削減が可能となる。</p> <p>また、web販売を行うことにより、現地ではチケットの受け渡しのみに対応を行うことができ、利用者の利便性向上につながる。</p> <p>さらに、チケットはデポジット機能を有するが、チケットを町の市街地の飲食店等で返却し、そこでデポジット分を使用することができ、地域内消費額の増加につながる。</p>			
交付対象事業費	18,631,624円			
交付金額（事業費の1/2）	9,315,812円			
KPI（指標）	目標値（上段）			直近のKPIについて 【「KPI達成」の場合】達成のための取組内容や工夫及び次年度達成に向けた取組 【「KPI未達成又は未計測」の場合】達成（計測）できなかった理由及び次年度達成に向けた取組
	実績値（下段）			
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
リフト輸送人数	270,000	273,000	276,000	事業実施実績集計中
Web販売利用者数（枚）	500	1,000	1,500	
ICリフト券 デポジット町内利用額（千円）	600	1,200	1,800	
自動改札機サービス利用者満足度	80	85	90	

介護認定審査会DX事業（芽室町、清水町、新得町による地域間連携）

担当： 高齢者支援課介護保険係

事業開始年度	令和7年度			
事業概要	高齢者人口の増加に伴い、要介護認定の申請も増加傾向にある中、タブレットによる審査会運営により、サービス利用を必要とする申請者の認定をより円滑にする。申請者のスピーディなサービス利用へつなげることにより、住民満足度向上を図り高齢者とその家族が安心して暮らせる地域の実現を目指す。合わせて、介護認定審査会委員の審査負担を軽減することで、より綿密なチェックによる二次判定を行えるようにするもの。			
具体サービス	<p>【認定審査会ペーパーレスシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西十勝介護認定審査会（十勝西部の芽室町・清水町・新得町で構成）において、ペーパーレスシステムを導入し、運営の効率化を図る。 ・紙の使用量削減により、環境に配慮した運営体制を整備する。 ・タブレット導入により、審査会委員が自宅に限らず職場での閲覧や郵送よりも早く閲覧が可能になり、より正確な審査及びチェックに有する時間的な負担軽減へつなげる。 			
交付対象事業費	1,488,762円			
交付金額（事業費の1/2）	744,381円			
KPI（指標）	目標値（上段）			直近のKPIについて 【「KPI達成」の場合】達成のための取組内容や工夫及び次年度達成に向けた取組 【「KPI未達成又は未計測」の場合】達成（計測）できなかった理由及び次年度達成に向けた取組
	実績値（下段）			
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
申請から結果通知までの日数	33	31	30	事業実施実績集計中
新規申請者の30日以内の認定 （人/新規申請者数）	108/220	130/230	150/240	
区分変更申請者の30日以内の 認定（人/区分変更申請者 数）	70/120	81/125	91/130	
タブレット導入による利用満足度 （10段階評価）	7.0	8.0	9.0	
事務処理に係る時間（時間/ 日）	5.0	4.5	4.0	

ペーパーレス会議システムの活用による障害支援区分認定審査会運営事業
 (芽室町、清水町、新得町による地域間連携)

担当： 健康福祉課障がい福祉係

事業開始年度	令和7年度			
事業概要	西十勝障害支援区分認定審査会において、毎月1回、年間12回、書面による認定審査を行っている。認定審査会にペーパーレス会議システムを導入することにより、各審査会で使用する紙の削減をするとともに、従来の認定審査会の業務や開催方法等を見直し、認定業務の効率化と申請受付から結果通知までの期間短縮を図り、申請者のスピーディなサービス利用へつなげることにより、住民満足度向上を図り、障がい者とその家族が安心して暮らせる地域の実現を目指す。			
具体サービス	【ペーパーレス会議システム】 ・ペーパーレス会議システムを通じて、電子化した資料を事前配布することにより、印刷や配布に係る時間を削減することで会議運営の効率化を図るとともに、申請者への認定結果通知までにかかる期間の短縮と、申請の受付期間を延長することにより、申請者のスピーディなサービス利用へつなげる。 ・紙の使用量削減により、環境に配慮した運営体制を整備する。 ・タブレット導入により、審査会委員が自宅に限らず職場での閲覧や郵送よりも早く閲覧が可能になり、より正確な審査及びチェックに有する時間的な負担軽減へつなげる。			
交付対象事業費	573,980円			
交付金額（事業費の1/2）	286,990円			
KPI（指標）	目標値（上段）			直近のKPIについて 【「KPI達成」の場合】達成のための取組内容や工夫及び次年度達成に向けた取組 【「KPI未達成又は未計測」の場合】達成（計測）できなかった理由及び次年度達成に向けた取組
	実績値（下段）			
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
システムを用いた障害支援区分認定審査会件数	9	12	12	事業実施実績集計中
システムを用いた障害支援区分認定審査件数	52	37	61	
申請から認定までの期間（日）	▲ 1	▲ 2	▲ 2	

公立芽室病院ナースコールシステムデジタル化事業

担当： 公立芽室病院事務局経営企画係

事業開始年度	令和7年度			
事業概要	<p>公立芽室病院のナースコール機器等について、従前の機器では、応答するPHSに病室情報のみが表示されるため、病床番号が特定できず、看護師が呼出患者を認知するのに時間を要することで、対応が遅れが生じていたことに加え、呼出履歴データが記録されないため、呼出情報を活用したデータ分析による患者対応の改善が実施できない課題があった。</p> <p>これに対して、デジタルナースコールシステムを導入することで、ナースコール対応の迅速化と呼出情報のデータ分析による患者対応改善を図り、患者の療養生活の改善と医療の質向上を実現し、患者満足度向上につなげる。</p>			
具体サービス	<p>【ナースコール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親機の液晶表示部にベッドと呼出種別を表示により、呼出患者の認知速度が向上し、迅速かつ適切な医療を提供できる ・液晶表示部に最大100件の呼出履歴を確認が可能となり、呼出重複時の対応漏れを防止 ・ナースコール親機が受信した呼出を複数のスマートフォンが同時着信することで、応答までの時間短縮 ・管理システムには、ポップアップなどで表示され、視認性の向上 ・病室からの呼出集中管理 ・呼出履歴管理をもとに、呼出の内訳などを利用し、マットセンサーなどのアセスメント活用が可能 			
交付対象事業費	44,351,538円			
交付金額（事業費の1/2）	22,175,769円			
KPI（指標）	目標値（上段）			直近のKPIについて 【「KPI達成」の場合】達成のための取組内容や工夫及び次年度達成に向けた取組 【「KPI未達成又は未計測」の場合】達成（計測）できなかった理由及び次年度達成に向けた取組
	実績値（下段）			
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
ナースコールの1日平均通知数	3.0	3.5	4.0	事業実施実績集計中
入院患者の患者満足度	80	82	85	
転倒転落事故の事案の減少（%）	105	100	95	